

IV. くらしと産業に関する刊行物の発刊

・ 定期刊行物の発行

・ くらしのトレンド

616号（4月上旬号）

明暗分かれる春の訪れ
春の恵みに学ぶ
春の禍
春なお遠し
春の課題

617号（4月下旬号）

CSR活動のすすめ
CSRの概念
CSR活動の現代的意義
（C）SRの国際的潮流と課題
「模倣被害」情報—特許庁（2013年）
CSR活動実例集 2014年版（わが社のCSR活動）
目次

618号（5月上旬号）

憲法記念日におもう
日本国憲法前文
自衛隊の海外活動をめぐる主な動き
データでみる軍事力 — 軍拡競争をやめるために —
日本（自衛隊） 中国人民解放軍 米軍 ロシア連邦軍
市井の日中関係—東京新宿界限にみる草の根日中交流 —
在日華僑の人たちから聞こえてくること

619号（5月下旬号）

くらしと産業をめぐる情勢 — 2014年5月

620号（6月上旬号）

情報社会にどう生きるか
くらしのリサーチセンターはどんな事業を展開しているのか

621号（6月下旬号）

ふるさと

622号（7月上旬号）

富岡製糸場 日本の製糸産業の歴史を学ぶ

623・624 合併号（7月下旬 / 8月上旬号）

「武力行使容認」は戦争抑止力・平和の維持になるか
— 国民各自が考える時 —
安倍政権「新成長戦略」（日本再興戦略）
— 特徴：問題点をみる —

625号（8月下旬号）

未来のために敗戦を省みる
「敗戦」から69年、1945(昭和20年)はどんな年だったか
1945年(昭和20年)の世相

626号（9月上旬号）

地方議員、地方議会のあり方
データにみる高齢社会

- 2014年 去る夏に想う一日常気象の日常化一
- 627号 (9月下旬号)**
 人材難、「人手不足」を考える
 温室効果ガスの濃度更新=30年間で最も高い上昇率
 =海水酸化やエルニーニョも
- 628号 629号 (10月上旬下旬合併号)**
 新興国と経済交流
 -ベトナム経済研究機関招聘(CSR研修)の経験-
- 630号 631号 (11月上旬下旬合併号)**
 日中間の民間交流促進
 「第1回セミナー」に参加して
- 632号 633号 (12月上旬下旬合併号)**
 年の瀬の解散総選挙
 世相いろはかるた
- 634号 635号 (1月上旬下旬合併号)**
 2015年を展望する
- 636号 637号 (2月上旬下旬合併号)**
 2015年暮らしと産業をめぐる内外情勢
 2015年：内外情勢と課題
 暮らしのリサーチセンター
 2015年取り組むべき課題 (事業計画概要)
- 638号 639号 (3月上旬下旬合併号)**
 2015年国民的関心事 格差社会を考える
 戦争終結から70年-歴史に学ぶ-

・暮らしのレポート

- 327号 (4月号)**
 エネルギー基本計画について
 講師：飯田 祐二氏
 [経済産業省 資源エネルギー庁 総合政策課長]
- 328号 (6月号)**
 次世代自動車の展望
 日本近現代史からみた歴史認識とグローバル社会における
 日本の役割 - 未完の明治維新と第三の開国 -
- 329号 (8月号)**
 2014年度社員総会記念パーティーの開催
 IPCC第5次評価報告書と
 最近の地球温暖化対策をめぐる動向
- 330号 (10月号)**
 電力システム改革の概要
 自動車運送事業等における人材確保・育成対策
- 331号 (12月号)**
 新興国へのCSR普及
 -健全な国際市場構築をめざしベトナムCSR研修団発の招聘-
- 332号 (2月号)**
 2015年(平成27年)新春賀詞交歓会
 -2015年新春講演会-
 地球規模の異常気象を考える

・ 不定期刊行物

(1) テーマ 「地球は怒っている」 Part II

－怒りをおさえるための取組み－

(2) 発刊の趣旨

近年の異常気象は日常化しており、時ならぬ集中豪雨、洪水、竜巻などが日本列島各地で多発している。気象庁も度々「経験したことのない雨量など」と発表している。

こうした事象はわが国だけでなく地球規模に広がりを見せており、その原因については人類の社会進歩に伴う人為的結果だとみられている。2014年4月13日発表された国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は地球温暖化ガスの排出削減に関する報告書において現在までの実測値並びに将来予測等問題点を指摘している。

IPCCは2015年12月にも開催される。そこでは京都議定書（1997年）以来の古くて新しい課題（南北問題—先進国と新興国の対立、エネルギー大量消費国）、CO₂大量排出国（中国、米国、インド等）のIPCCへの不参加の解決策が期待される。米国、中国は最近CO₂削減目標を具体化する動きを見せている。

同時にわが国は「環境立国」としての実績を世界にアピールし、リードすることが求められる。

この機にあたり、当センターとしてはこれまでの実績に基づき本書を発刊し、広く各層国民の理解を得ると共に行動を促したい。

③本書の概要

発刊のことは

第1部 企業の取組み

「エネルギー、環境問題への各企業の取組み」

第2部 行政（経済産業省、環境省、気象庁）

「エネルギー制約の現状と課題」「地球規模の異常気象を考える」

第3部 労働組合、消費者団体、市民の部

④原稿提供者

北海道電力(株)、東北電力(株)、東京電力(株)、中部電力(株)、関西電力(株)、北陸電力(株)、四国電力(株)、九州電力(株)、東京ガス(株)、大阪ガス(株)、JX 日鉱日石エネルギー(株)、全日本空輸(株)、トヨタ自動車(株)、(株)日立製作所、新日本製鉄住金(株)、消費者団体、日本労働組合総連合会、市民

参考資料（エネルギー・環境問題に関する当センターの発刊物）

- ・エネルギー読本 - くらしとエネルギー - （1990年3月20日発行）
- ・環境対策読本 （1991年9月20日発刊）

- ・エネルギー読本（改訂版） - くらしとエネルギー - （1992年7月15日発行）
- ・エネルギー読本（新訂版） （1997年9月20日発行）
- ・環境対策読本（改訂版） - 企業と行政の取組み - （1998年1月15日発行）
- ・くらしと環境 - 市民・消費者の役割と取組み - （1998年5月25日発行）
- ・省資源・省エネルギー読本 - 企業・行政の取組みと消費者の意識と行動 - （1998年10月16日発行）
- ・21世紀に向けた環境対策 - 行政・企業の取組み - （2000年2月22日発行）
- ・地球温暖化対策へどう取組むか（2002年11月27日発行）
- ・地球は泣いている - 地球温暖化対策に取組む - （2005年9月20日発行）
- ・地球は怒っている - 地球を守ろう - （2007年10月25日発行）

・その他

「タクシー展望No.57」2014年9月発行

テーマ「急激に進んでいる「労働力問題不足」にいかに対応するか」

7月14日「企画会議」

8月26日「座談会」

テーマ「急激に進んでいる「労働力問題不足」にいかに対応するか」

場 所 東京ハイヤータクシー協会

出席者

武井 利春氏 （一社）東京ハイヤータクシー協会 労務担当副会長

須田 博氏 西武バス(株) 人事部課長]

野口 貴史氏 （一社）くらしのリサーチセンター 理事

全日本空輸(株)総務・CSR部総務チームリーダー

工藤 芳郎 （一社）くらしのリサーチセンター副会長・専務理事

「タクシー展望No.58」2015年3月発行

テーマ「利用者との相互理解を深めて活性化しよう」

－多様な利用者ニーズとタクシーが果たす役割・課題－

3月3日「座談会」

場 所 東京ハイヤータクシー協会

<参加者>

(※敬称略 順不同)

佐藤 良一氏 (株)日立製作所 渉外本部 渉外部 部長

高島 俊和氏 国際興業(株) 運輸事業部 次長

佐藤 雅一氏 (一社)東京ハイヤー・タクシー協会経営担当副会長

藤原 廣彦氏 (一社)東京ハイヤー・タクシー協会広報担当副会長

工藤 芳郎 (一社)くらしのリサーチセンター副会長・専務理事